

令和2年度  
(2020年度)

## 総合教育部の取り組み実績

<部長の方針・考え方>

- ①新しい生活様式を踏まえた教育環境の充実
- ②市政全般の課題対応につながる教育分野からのアプローチ
- ③公民連携、民間活力のさらなる活用による教育環境の充実

### 具体的な取り組み：「教育振興基本計画」の見直し

教育の振興に関する中長期的な目標や方向性を示す「枚方市教育振興基本計画」（平成28年6月策定）について、令和2年3月に策定した、新たな「枚方市教育大綱」に掲げる教育理念「夢と志を持ち、可能性に挑戦する“枚方のこども”の育成」や、国の「教育振興基本計画」等を踏まえ、令和2年9月を目途に、見直しに取り組みます。

見直しにあたっては、枚方市教育に関する事務の点検評価に携わっていただいている学識経験者等の意見をいただきながら、教育大綱の重点方針に掲げる、「いじめや不登校の防止、早期解決」や、「ICT活用の推進」等のほか、新型コロナウイルス感染症等の危機事案に対応しうる新しい生活様式の視点も取り入れながら検討作業を進めます。

実績	①「枚方市教育振興基本計画」の見直し。
説明	① 「枚方市教育振興基本計画」について、国の第3期教育振興基本計画や、令和2年3月に策定した、新たな「枚方市教育大綱」に掲げる重点方針等を踏まえ、学識経験者である枚方市教育に関する事務の点検評価員や、パブリックコメントによる意見をいただきながら、令和2年9月に見直しを行いました。 見直しに当たっては、今後の教育行政に求められる課題を踏まえ、「新型コロナウイルス感染症等への対応」や「タブレット端末などICTを活用した学習活動の充実と学力の育成」等を重点的に進める取り組みと位置づけ、計画に沿った施策を推進することとしました。

### 具体的な取り組み：社会教育の推進

新しい生活様式への適応の観点の踏まえ、子育てや親への支援を行う家庭教育支援事業、暮らしに役立つ社会制度等についての情報や知識を学ぶ社会教育基礎講座、人権を擁護し、尊重することの大切さについて、市民の気づきを促す社会教育（人権）講座等を開催するほか、枚方市日本語・多文化共生教室「よみかき」を実施します。

各事業の実施にあたっては、必要な人に必要な情報が届くよう適切な周知に努めます。

実績	<p>① 令和2年度は『つながる、気づく』を共通のテーマに設定し、「家庭教育支援事業」、「社会教育基礎講座」、「社会教育人権啓発事業」を実施。          &lt;講座等の募集人数に対する参加者の割合：87.5%&gt;</p>
説明	<p>① 家庭教育支援事業として、参加者同士の話し合いを通じて、自らの子育てを振り返る機会を提供し、子育てに関する気づきを促す「子育て応援！親学び講座」（計2回実施）（参加122人/定員122人）や、「親子でアート！ビーチグラスでモザイク画を作ろう！！」（参加12組34人/定員15組30人）、「親子でマジシャンになろう！親子のコミュニケーションマジック講座！」（参加12組32人/定員15組30人）、「スマホが思春期に与えるホンマでっか！な影響について」（参加9人/定員30人）を実施しました。</p> <p>社会教育基礎講座として、自分が住む地域の歴史に触れる「地域歴史講座 第1回 初歩の初歩 蹉跎の歴史」（参加25人/定員40人）や、「もしものときのための応急手当講座」（参加16人/定員20人）を実施しました。</p> <p>社会教育人権啓発事業である「枚方市日本語・多文化共生教室『よみかき』」については、コロナの感染状況を注視しながら教室開催を行うとともに、中断期間においては、日本語による手紙を受講者に発送するなど少しでも日本語に触れる機会を提供しました（全6教室、327回実施）。</p> <p>令和3年度においても、「人生100年」時代を迎えるにあたり、生涯自ら学習し、自己の能力を高め、働く事や、地域や社会の問題解決のための活動につなげていくことの必要性が高まっていく中、社会教育を推進する、各種事業を行っていきます。</p>

### 具体的な取り組み：校内無線LAN環境の整備

小・中学校でタブレット端末をWi-Fiでつなぎ、新しい生活様式を踏まえた教育環境の充実に向けて、ICT環境を最大限活用した学習活動等の実施ができる校内無線LAN環境の整備を進めます。

実績	<p>① 小中学校の校内無線LAN環境の整備。</p>
説明	<p>① 高陵小学校と中宮北小学校を除く小中学校の各教室にタブレット端末をWi-Fiでつなぐための機器等を設置し、校内のICT環境の整備を実施しました。</p>

### 具体的な取り組み：学校規模等適正化の推進

教育環境の向上のため、将来の児童・生徒数を見据え、「枚方市学校規模等適正化基本方針」

に基づき、学校規模等の適正化に向けて具体的な取り組みに併せて、市全般の課題でもある公共施設総量の最適化に取り組みます。

小規模校対策では高陵小学校と中宮北小学校の学校統合について、保護者や地域等の理解と協力を得ながら、新しい学校づくりに向けて「枚方市学校規模等適正化実施プラン」を策定します。また、過密校対策では樟葉小学校と樟葉北小学校の校区変更について取り組みを進めます。

<p><b>実績</b></p>	<p>① 学校規模等適正化の推進。</p>
<p><b>説明</b></p>	<p>① 小規模校対策では、令和4年4月の高陵小学校と中宮北小学校の学校統合に向けて、両校の保護者や地域の代表者等と協議・検討を行うとともに、両校区を対象に説明会等を実施し、令和3年3月に「枚方市学校規模等適正化実施プラン」を策定しました。今後、保護者、地域コミュニティ、学校、教育委員会等の代表者からなる「枚方市新しい学校づくり協議会」において統合に関する諸課題について協議を行います。</p> <p>樟葉小学校の過密校対策では、当校の児童数の将来予測が減少方向に変化してきているため、校区変更は行わず、今後の児童数の推移を見定めることとしました。</p>

### 具体的な取り組み：児童・生徒の安全対策

小・中学校における学びの保障に対する支援策として、非接触型体温計やフェイスシールド、消毒液等、新型コロナウイルス感染症対策に係る備品や消耗品等を配備します。

杉中学校に通学する生徒のうち、通学の距離及び安全面からバス通学が必要と認められる生徒の保護者に対して交付している遠距離生徒通学費補助金の対象地域を拡大したことに伴い、バス通学の状況を把握するとともに、より一層の安全対策に取り組みます。

また、ホイッスル型の見守り端末を児童・生徒が携行し、通学路を中心に設置する基地局がその電波を受信することにより児童生徒の移動履歴がわかる、民間事業者が提供する広域見守りサービスを活用したモデル事業について、同中学校区内から順次実施していきます（小学校は全児童を対象とし、中学校は希望者を対象とします）。

<p><b>実績</b></p>	<p>① 物品の購入などにより小・中学校の新型コロナウイルス感染症対策を実施。 ② 路線バスを2便増便（臨時便）。 ③ 民間事業者と協定を締結、中学校3校と小学校7校で広域見守りサービスを導入。</p>
<p><b>説明</b></p>	<p>① 小・中学校での新型コロナウイルス感染症対策として、全小中学校に非接触型体温計、フェイスシールド、消毒液や飛沫防止ガードなどを配備するとともに、トイレ清掃・消毒作業の業者委託を行いました。また、小・中学校が、各校で感染症対策に必要な物品を速やかに購入することができるよう、予算の追</p>

	<p>加配当を行いました。こうした感染症対策を講じた結果、安心安全な教育活動の推進に寄与することができました。今後も、補助金などを活用することで、より一層の感染症対策に努めていきます。</p> <p>② 通学の安全確保のため、京阪バス（株）にバスの増便について要望を続けてきた結果、学校運営日にあわせて臨時便を2便増便することになりました。今後も引き続き、学校や保護者等と連携しながら通学路の安全対策に取り組んでまいります。</p> <p>③ 民間事業者と広域見守りサービスの導入について令和2年7月に協定を締結し、9月に杉中学校と同校区内の小学校3校（氷室小・菅原東小・藤阪小）に同サービスを導入しました。また令和3年1月には長尾中学校・長尾西中学校と同校区内の小学校4校（田口山小・菅原小・長尾小・西長尾小）にも同サービスを導入しました。今後は新型コロナウイルス感染症の影響を考慮しつつ、早期の市内全校区への導入に取り組めます。</p>
--	--

### 具体的な取り組み：学校給食における感染症対策及び熱中症対策

学校給食の実施にあたっては、感染症及びその拡大リスクを可能な限り低減しつつ、感染レベルに応じた対応を行います。各学校において、給食当番活動を行う子どもたちの体調を毎日点検・記録する仕組みの徹底を図るとともに、給食当番の前には手洗いを行うことや、配膳時や喫食時に飛沫を飛ばさないよう、会話を控えるとともに、机を向かい合わせにしないなどの給食指導の徹底を進めていきます。

また、各学校の状況を把握し、更なる対策を進めるなど、感染防止対策を行ったうえでも給食の時間が楽しみになるよう給食指導の充実に取り組めます。

調理場においても、飛沫感染を防止するために作業中の不要な会話は行わず、接触感染を防止するためにマスクを触った後等の手洗いを徹底する等の対策を行います。

また、今年度については、8月の夏季期間に給食を実施するため、調理員に冷却ベスト等を配付するとともに、献立を工夫する等、感染症対策や食中毒の防止及び熱中症対策に努めます。

<p><b>実績</b></p>	<p>① 感染拡大防止対応の上、小中学校全校で給食を実施。</p> <p>② 広報媒体を活用した給食指導に繋がる取り組みを実施。 (教育委員会ブログ・広報ひらかた「枚方キッチン」)</p> <p>③ 調理従事者の感染防止対策の実施。</p> <p>④ 夏季期間の熱中症対策の実施。</p>
<p><b>説明</b></p>	<p>① 大阪府教育庁作成のマニュアル及び文部科学省通知等に基づき作成した「学校の教育活動を再開するにあたって(枚方市教育委員会)」にて、給食時間中の指導(給食当番の健康観察・記録の徹底、給食の配食方法、手洗い、喫食時の注意点等)について具体的に学校に通知し、指導の徹底を進めました。</p> <p>② 調理場内の様子や給食を撮影した写真や映像を教育委員会ブログに掲載しま</p>

	<p>したが、なかには給食中に映像を流す等、会話をしない給食時間でも楽しい時間となる工夫を行っている学校もありました。また、広報ひらかた「枚方キッチン」では、行事食・郷土料理や旬の野菜を使用した学校給食のレシピ、給食で使用する地元産野菜を紹介しました。</p> <p>③ 学校給食管理基準に基づく調理作業及び従事者の健康管理における感染防止対策を徹底するとともに、不要な会話の制限や昼食時以外のマスクの着用、手洗いの励行等の飛沫・接触感染防止対策の徹底を行いました。</p> <p>④ 夏季期間の給食においては、調理方法や料理の組合せを工夫することで調理従事者の熱中症対策や食中毒の防止に努めるとともに、献立の質を低下させることなく給食を提供しました。加えて、空調設備のない調理場で勤務する調理従事者には冷却ベストを配付し、熱中症対策を行いました。</p>
--	--

**具体的な取り組み：香里ヶ丘図書館・中央公園の一体的運営**

香里ヶ丘図書館は、令和2年度より、指定管理者による運営を行います。4月から、備品の整備等開館準備を進め、7月22日にリニューアルオープンの予定です。

開館後は、香里ヶ丘地域のまち全体の魅力を高め定住促進に繋げるため、隣接する香里ヶ丘中央公園みどりの広場でのイベント開催、地域や周辺商業施設と協力してにぎわいの創出やまちの魅力の向上に取り組めます。



<p><b>実績</b></p>	<p>① 令和2年4月から指定管理者による運営及び開館準備開始。</p> <p>② 令和2年7月22日にリニューアルオープン。</p> <p>図書館と公園（みどりの広場）の一体的運営を行い、隣接する香里ヶ丘中央公園みどりの広場でのおはなし会や地域や周辺商業施設と連携したイベントの開催。</p>
<p><b>説明</b></p>	<p>① 令和2年4月から指定管理者による運営を開始し、他の場所で保存していた図書約9万冊の配架や書架・備品・什器等の設置を行うなど、開館に向けた準備を行いました。</p> <p>② 令和2年7月22日のリニューアルオープン後、多くのご利用をいただき、新型コロナウイルス感染症の影響が少なく通常開館ができた4ヶ月の貸出冊数を</p>

	<p>年間換算すると約 53 万冊となりました。建替え直前の旧館の利用と比較しますと、10 万冊以上を上回る利用となりました。また、近隣の商業施設等と連携したイベントの実施やみどりの広場での青空おはなし会の実施など、香里ヶ丘図書館の特性を生かしたサービスを行いました。</p> <p>令和 3 年度は、地域のまちの魅力向上に向け、さらなる利用向上や近隣との連携に取り組んでいきます。</p>
--	---

**具体的な取り組み：学校図書館支援事業の推進**

読書好きの子どもを育み、児童・生徒の学力向上につながるよう、全 19 中学校区に配置している学校司書への支援、学校図書館システムの管理・技術的支援、学校図書館の環境整備を行い、学校図書館の機能充実を図ります。

また、「学校教育支援用団体貸出」、「子どもに本を届ける事業」等を行うとともに、児童・生徒の読書意欲を高めるため「ビブリオバトル」等の充実に向け、関係部署と協力しながら取り組みます。

<p><b>実績</b></p>	<p>① 全 19 中学校区配置の学校司書への支援及び学校図書館の機能充実。</p> <p>② ・学校への団体貸出図書配本事業          &lt;小学校 36 校に 1 校あたり 210 冊を年 2 回配本&gt;          ・学校教育支援用団体貸出          &lt;貸出回数（受付件数）：小中学校 290 件、貸出冊数：7,417 冊&gt;          ・子どもに本を届ける事業 &lt;図書 2,639 冊を購入&gt;</p> <p>③ 「第 8 回ひらかた朗読大会」を開催。          &lt;出場者：小学生 25 人、参加者：48 人&gt;          「第 6 回中学生のビブリオバトル」を開催。 &lt;参加者：11 人&gt;</p>
<p><b>説明</b></p>	<p>① 学校司書への支援、学校図書館システムの管理・技術的支援、学校図書館の機能充実に向けた取り組みを行いました。</p> <p>② 小中学校への「読書支援用」図書の団体貸出及び搬送や、「学校教育支援用」図書の団体貸出を実施、また、子どもに本を届ける基金から 450 万円を予算化し、中央図書館団体貸出配本用図書等を購入することにより、学校図書館への支援に取り組みました。</p> <p>③ 児童・生徒の読書意欲を高めるため、学校教育部と連携し「第 8 回ひらかた朗読大会」「第 6 回中学生のビブリオバトル」を開催しました。「第 9 回中学生の調べ学習コンクール」は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い中止しました。</p> <p>令和 3 年度は 12 小学校への学校司書配置にあわせ、さらなる学校図書館機能の向上及び充実を図ります。</p>

## 具体的な取り組み：市駅周辺の図書館機能の充実

子育て世代を中心としたニーズを踏まえ、市の中心拠点・駅近のメリットを生かして、市駅周辺を利用する市民等に市の魅力をアピールし、定住促進に寄与できるよう、行政機能の一つである「図書館機能」の充実に向けた検討を進めます。

<b>実績</b>	① 枚方市駅周辺の「図書館機能」充実に向けた検討。
<b>説明</b>	① 枚方市への定住促進に向けた魅力にあふれた賑わいのあるまちづくりに寄与するため、枚方市駅前の再開発における「図書館機能」の充実に向け取り組んでいます。令和3年度は、引き続き関係課と連携しながら、駅近のメリットを生かすとともに民間施設や他の公共施設とつながりを持たせ、子どもや高齢者、子育て世代などにも利用しやすい施設とするための検討を行います。

## 具体的な取り組み：図書館利用における安全の確保

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、対策状況に応じ、本の消毒、マスクの着用、予約本の受け渡しに限定する等サービスの縮小や臨時休館、中央図書館、分館に設置している本の消毒器の活用、貸出カウンター周りのビニールシートの設置等、市民の安全に配慮した対応を行います。

また、電子図書の導入等、新しい生活様式への移行に向けた取り組みを進めます。

<b>実績</b>	① 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため各種対策を実施。 ② 新しい生活様式にも対応するために電子書籍導入を検討。
<b>説明</b>	① 本の消毒、マスクの着用、中央図書館・分館・分室に設置している本の消毒器の活用、貸出カウンター周りのビニールシートの設置など、市民の安全に配慮した対応を行いました。 ② 電子書籍の令和3年度導入に向け、他市事例を調査するとともに、予算確保を行いました。 令和3年度も引き続き、市民が安心・安全に図書館を利用できるよう感染症拡大防止対策を行うとともに、電子書籍の導入により、家にいながら読書が楽しめ、学びが広がる環境づくりに取り組みます。